

日本教材学会第 30 回研究発表大会

中国・四国・九州支部第 3 回研究発表大会 合同研究大会 ご案内(第 2 報)

◆日時：平成 30 年 10 月 20 日（土）・21 日（日）

◆会場：学校法人福山大学宮地茂記念館
 〒720-0061 広島県福山市丸之内 1 丁目 2 番 40 号
 TEL：084-932-6300 FAX：084-932-6354
 ※ JR 福山駅北口正面、徒歩 2 分です。

◆大会参加費：正会員 ￥2,000 円、臨時会員 ￥4,000、学生 ￥1,000 （大会要旨集：￥1,000 申込者のみ）

◆情報交換会参加費 ￥3,000

◆研究発表大会日程・時程（時間は、開始・終了時刻です）

10 月 20 日（土） 受付：11 時～

11:00	12:00	12:45	13:00	13:50	14:00	15:20	16:00	16:10	18:15	18:35	20:35
受付	理事会 (7階704教室)	移動	シンポジウム 基調講演 「新学習指導要領に基づく教材開発の新視点」 (9階903教室)	休憩	シンポジウム 研究討論 (9階903教室)	総会 9階 903教室	移動	研究発表1-5 (各発表25分) [発表20分、質疑5分] (4階401, 402, 403, 404, 405教室) 研究プロジェクト1-3 (3階301, 8階802, 803教室) ポスター発表 (1階102教室)	移動	情報交換会 (福山ニューキャッスルホテル)	

10 月 21 日（日） 受付：8 時 30 分～

8:30	9:00	11:05	12:00	14:00	14:15	14:45
受付	研究発表6-10 (各発表25分) [発表20分、質疑5分] (4階401, 402, 403, 404, 405教室) 研究プロジェクト4,5 (8階802, 803教室)	昼食	研究プロジェクト6-8 (3階301, 8階802, 803教室)	移動	中国・四国・九州支部総会 (7階704教室)	

◆シンポジウム 10 月 20 日（土）13：00～13：00～15：20

◆情報交換会 10 月 20 日（土）18：35～ 福山ニューキャッスルホテル

◆主催：日本教材学会 共催：福山大学・福山平成大学 ◆後援：広島県教育委員会、福山市教育委員会

◆研究発表会場とアクセス

会場：学校法人福山大学宮地茂記念館

〒720-0061 広島県福山市丸之内1丁目2番40号

TEL：084-932-6300 FAX：084-932-6354

- ・JR 福山駅北口から徒歩2分
- ・本館には駐車場はありません。お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。



アクセス



◆シンポジウム 10月20日(土) 13:00~15:20

「新学習指導要領に基づく教材開発の新視点」

基調講演 「新学習指導要領に基づく教材開発の新視点」

大杉昭英 (独立行政法人教職員支援機構 次世代型教育推進センター 上席フェロー)

研究討論 話題提供者

西川京子 (福山平成大学福祉健康学部准教授)

「新学習指導要領に基づく教材開発の新視点ーグローバル教育の視点からー」

永井博美 (広島県立教育センター企画部教育研究班指導主事)

「新学習指導要領に基づく教材開発の新視点ーキャリア教育の視点からー」

有松浩司 (竹原市立吉名学園教諭)

「新学習指導要領に基づく教材開発の新視点ーICT活用の視点からー」

指定討論者：北 俊夫 (前 国士舘大学体育学部教授)

企画・司会：小原友行 (福山大学人間文化学部教授)

◆自由研究発表 発表会場、発表順

10月20日(土) 16:10~18:15 (発表時間：1件25分 20分発表・5分質疑)

第1会場 図画・工作、美術科、教材論 (4階401教室) 司会 相田 隆司、宮崎 由樹

- ① 16:10~16:35 相田 隆司 図画工作科・美術科の授業・単元づくりをめぐる探究
ーベテラン教員の授業を体験した学生の姿からー
(共同研究)
- ② 16:35~17:00 山田 芳明 教科書題材の分類作業を通じた教員養成学生の力量形成に関する考察
- ③ 17:00~17:25 佐々木 奏美 自分の思いをもち、つくりつづけるための題材の研究
ー特別支援学級での実践におけるA児の言動の分析をもとにー
- ④ 17:25~17:50 下村 由香 カルタ教材及びスマートフォン教材を用いた医薬品成分名に関する暗記用教材の開発
ー「登録販売者」資格取得試験対策のための授業における実践例ー

第2会場 音楽科 (4階402教室) 司会 石塚 真子、伊藤 憲孝

- ① 16:10~16:35 阿部 綾梨 中学校音楽科における合唱と創作活動を関連づけた授業実践についての考察
- ② 16:35~17:00 飯村 諭吉 昭和初期の器楽教材における管打楽器の練習法と学習過程
ー「吹奏楽」「喇叭鼓隊」「鼓笛隊」の比較検討を通じてー
- ③ 17:00~17:25 川村 有美 日常生活と結び合う知と音楽教材をめぐる
- ④ 17:25~17:50 森 薫 自分にとって価値のある音や音楽をつくるための教材に関する基礎的検討 ー新しい小学校音楽科の学習指導要領に着目してー
- ⑤ 17:50~18:15 石塚 真子 生涯学習の視点に立った民俗芸能の教材化について
ー民俗芸能の場に携わる地域外関係者の事例からー

第3会場 生涯学習、生活・総合的な学習 (4階403教室) 司会 石橋 昌雄、日下部 典子

- ① 16:10~16:35 渋谷 あゆみ 社会に開かれた教育課程の実現に向けてー学校運営協議会を中心としてー
- ② 16:35~17:00 小野沢美明子 教師と子どもの協働参加における「変化」の意義
ー動物の去勢をめぐる話し合い活動を中心としてー

- ③ 17:00～17:25 沼澤 清一 「おたよりノート」で書く力を育む小学校入学期の作文指導
－生活科を中心に言語活動を育む 有田和正の実践から－
- ④ 17:25～17:50 石橋 昌雄 「人と人との関わり」に関するカリキュラム開発
(共同研究) ー下学年の「相手意識」を育てる活動の工夫ー
- ⑤ 17:50～18:15 後藤 千恵子 「人と人との関わり」に関するカリキュラム開発
(共同研究) ー上学年の「相手意識」を育てる活動の工夫ー

第4会場 理科、技術科 (4階404教室)

司会 伊藤 潔、鶴崎 健一

- ① 16:10～16:35 中川 徹夫 ペットボトルのキャップとマロウブルーを用いた水溶液の酸性、中性、アルカリ性の識別に関するマイクロスケール実験教材の開発
- ② 16:35～17:00 山根 悠平 小学校理科における流域の視点を取り入れた教材の開発
ー第4学年「雨水の行方と地面の様子」に焦点をあててー
- ③ 17:00～17:25 蝦名 元 クリオネの質感が維持される教材標本の作製
ー食物連鎖の授業に利用できる標本の試作検討ー
- ④ 17:25～17:50 武田 晃治 FADの色調変化に着目した実験教材の開発
- ⑤ 17:50～18:15 宮川 秀俊 ものづくり教育における安全衛生に関する提示教材の国際比較
ーESD・SDGsの視点からー

第5会場 算数・数学科、教科書研究 (4階405教室)

司会 太田 伸也、小池 英明

- ① 16:10～16:35 渡会 陽平 単位変換の問題場面に対する児童の捉え方に関する研究
- ② 16:35～17:00 舟橋 友香 熟練教師の数学科授業にみる教科書の記述を補う教授行為に関する一考察
ー「因数分解」の指導を事例にー
- ③ 17:00～17:25 本田 千春 現実事象を幾何学化する力の育成を目指す教材
ーAEDで救える命を増やそうー
- ④ 17:25～17:50 中原由望子 “見えない境界線”の曖昧さを共有する教材作成の試み:
ーパーソナルスペースを学ぶ必要性と授業や教材開発に繋がる構成要件ー
- ⑤ 17:50～18:15 二宮 皓 海外の教科書研究の動向 ーIARTEMの動向を中心としてー

10月21日(日) 9:00～11:05 (発表時間:1件25分 20分発表・5分質疑)

第6会場 幼児教育 (4階401教室)

司会 日下部 典子、記谷 康之

- ① 9:00～9:25 室井 眞紀子 幼稚園における音楽表現活動と保育者の援助
ー楽器遊びの教材・教具の活用と保育の展開ー
- ② 9:25～9:50 後藤 由美 保育内容総論の研究(2)ー保育カリキュラムの歴史の変遷ー
- ③ 9:50～10:15 根本 徹 園外保育における環境体験(7)
ー都市公園内設置の保育園における乳幼児の環境体験ー
- ④ 10:15～10:40 連 孟琪 日本語支援を要する子どものための教材開発とその実証的研究

第7会場 保健体育科 (4階402教室)

司会 北浦 孝、高本 健彦

- ① 9:00～9:25 松田 広 高等学校「体育理論」領域における授業作成の試みに関する研究
(共同研究)
- ② 9:25～9:50 河野 洋 スケアード・ストレートによるスポーツ事故防止教育の可能性
(共同研究)
- ③ 9:50～10:15 鈴木 一成 小学校低学年における「逆ドッジ」の授業実践
(共同研究)
- ④ 10:15～10:40 麻生 翔太 中学校「体育理論」領域における授業作成の試みに関する研究
ー単元「運動やスポーツの学び方」ー

第8会場 道徳、外国語、国語科 (4階403教室)

司会 細谷 美明、三藤 恭弘

- ① 9:00～9:25 竹田 敏彦 「いじめ問題」に対処するための指導内容や手立てに関する研究
ー「特別の教科 道徳」(道徳科)を要としてー

- ② 9:25～ 9:50 荻野 貴美子 看護師による中学生に対する老年期の授業実践（2）
—生徒へ実施したアンケートの分析からの示唆—
- ③ 9:50～10:15 田中 裕実 協同作業認識尺度を用いたアクティブラーニング型授業の実践
- ④ 10:15～10:40 青木 一起 国語科を核に他教科との構造的系統的連携を図る教材とカリキュラムの創造
- ⑤ 10:40～11:05 位籐 邦生 国語教材としての『源氏物語』
—「若紫」の巻から文章を選んで、国語教材としての意味を考察する—

第9会場 社会科、生涯学習、博物館教育、生活・総合的な学習（4階404教室） 司会 伊藤裕康、山崎洋子

- ① 9:00～ 9:25 小原 友行 「グローバル・パートナーシップ」を育成する多文化間交流教材の日米協働開発 —ジョン万次郎とラナルド・マクドナルドの日米交流物語—
- ② 9:25～ 9:50 小松 伸之 都市空間の教材化による日韓共通歴史教材の開発
- ③ 9:50～10:15 土井 進 唐澤博物館の実物資料から学生が看取した教育効果
—日本の児童文化・学校文化・生活文化の実物資料との出会い—
- ④ 10:15～10:40 内海 美由紀 モノからコトの展示へ
—茨城県自然博物館ダイノニクスの復元予想の展示手法に着目して—
- ⑤ 10:40～11:05 伊藤 裕康 生活科と他教科との接続・発展を図る授業の開発に関する研究

第10会場 算数・数学科（4階405教室） 司会 花園 隼人、相田 紘孝

- ① 9:00～ 9:25 砂田 大樹 『数学 第二類』における球面三角法導出に関する一考察
- ② 9:25～ 9:50 細田 幸希 高等学校 数学科 における 仮説検定を用いた教材 の開発
- ③ 9:50～10:15 栗原 和弘 学校数学における図形の対称性の教材に関する一考察
—代数的構造を観点として—
- ④ 10:15～10:40 村田 翔吾 中学校数学科における接線作図の変遷に関する一考察
—メタ数学を視点とした教科内容の分析—
- ⑤ 10:40～11:05 花園 隼人 数学的対象の美的性質の感得過程に関する一考察
—図形数への着目に焦点を当てて—

◆ポスター発表 10月20日（土） 16:10～18:15（1階102教室 掲示順）

- ①. 森 直樹 足場かけを生み出す教材の研究—高校英語の協働学習において有効な教材の検討—
- ②. 伴 浩美 医療英語試験の英文の計量言語学的解析
- ③. 伴 浩美 保育専攻学生における英語学習意欲の学年別比較
- ④. 八田 友和 原始・古代史学習において利用可能な編年分布図の開発
- ⑤. 八田 友和 考古学の研究手法で教科書資料を教材化する—考察—小単元「大和政権の発達」を事例に—
- ⑥. 青野 篤子 白雪姫の読み比べからみる現代大学生の性別分業観
—ディズニー映画と政治的に正しいおとぎ話の比較を通して—
- ⑦. 小松 幸廣 手回し発電機製作教材の開発
—エネルギー分野における製作を伴う教材に関する考察—
- ⑧. 比嘉 俊 持続可能社会に向けた教材の開発—中学校理科における外来生物を題材にして—
- ⑨. 菅方 孝司 中学校体育における「体育理論」領域の実態と提案—スポーツとメディアに着目して—
- ⑩. 水野 智美 点字ブロックを題材にした幼児に対するバリアフリー教育の可能性
- ⑪. 西館 有沙 交通安全教育のための幼児向け視聴覚教材の内容分析
- ⑫. 藤重 育子 保育での活用や子育てに利用される様々な絵本
- ⑬. 野原 幸男 「チームで働く力」の醸成を目的とした地域紹介CM制作に基づく授業設計
- ⑭. 記谷 康之 授業アンケートにみる情報リテラシー科目における学生の振り返り
- ⑮. 皆川 順 保育系学生の授業中の態度と問題別成績について—他学科との比較による検討—
- ⑯. 白鳥 絢也 多文化の「共生」に向けた実用化に資する教材モデルの構築
—ブラジルで使用されている教科書の分析を通じて—

◆研究プロジェクト

10月20日(土) 16:10~18:15

- ◇ (3階301教室) 「教材と教科教育の理論的研究
—M. バフチンの対話論と理科、社会科、算数科の教材分析—」
研究代表者: 朝倉 徹
- ◇ (8階802教室) 「学校教育における「発見・創造」の再考
—教科固有の「見方・考え方」はどうか—」
研究代表者: 清水 美憲
- ◇ (8階803教室) 「幼児教育における教材の在り方—幼児の生活経験を広げ深める教材—」
研究代表者: 藪中 征代

21日(日) 9:00~11:05

- ◇ (8階802教室) 「主体的・対話的で深い学び」その深さをどう創るか—その2—」
研究代表者: 下田 好行
- ◇ (8階803教室) 「未来に生きる子供達のための図書教材—21世紀にふさわしい教育と図書教材—」
研究代表者: 谷合 敬

21日(日) 12:00~14:00

- ◇ (3階301教室) 「持続可能な開発のための教育(E S D)と教材—SDG sの17の目標に向けて—」
研究代表者: 宮川 秀俊
- ◇ (8階802教室) 「次期学習指導要領へ対応するための小学校プログラミング教育推進のための研究
—教育委員会、民間企業、それぞれの立場からのアプローチ—」
研究代表者: 小池 英明
- ◇ (8階803教室) 「電気の利用における、個人教材の有用性と教材開発
—扱いやすさと正確な実験結果による興味付け—」
研究代表者: 大橋 陽一郎